＜彦根市の地域医療を守る会　様＞

上映日：2017/12/02（土）　場所：彦根市保健・医療複合施設　くすのきセンター（滋賀県彦根市）

会場の装飾と、代表の川村さん

会場の様子と、地元新聞に掲載された記事

一人でも多くの方に、認知症を正しく理解して頂きたいという思いで開催しました。

●上映会を開催するに至った経緯を教えて下さい。

彦根市の地域医療を守る会 代表 川村啓子氏より、自主上映がしたいと頼まれました。私自身も認知症対応型通所介護事業所を運営していて、公開時に『ケアニン』を観に行って、とても感銘を受けた一人であり、自主上映会の企画をホームページで知っていましたので、川村さんから頼まれた時、直ぐに引き受けました。
『ケアニン』をいろんな方に観て頂き、一人でも多くの人に、認知症という病気を正しく理解して頂きたい。というのが、開催の目的です。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

医療法人 湖葉会の職員(3人程度)と、彦根市の地域医療を守る会 川村さんです。

●協力の得られた団体はありましたか？

彦根市に、口頭と文章にて趣旨を説明し、会場などお借りできました。

●資金はどのように捻出しましたか？

会場料などは、費用がかかりませんでしたので、チケット金額も安く設定できました。当日のチケット料金等でほとんど賄えました。ほんの少しだけ(1,000円程度)赤字でした。

●地域へどのように告知をしましたか？

メールや、フライヤーをいろんな所に置かせていただいたり、出向いて告知しました。彦根市の地域医療を守る会 代表 川村さんも、いろんな所へ出かけ告知されていました。

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

8割くらいの人が泣いておられました。鑑賞後のアンケートをほとんどの方が書いてくださいましたので、鑑賞された皆さまに何か響いたものがあったと思っています。
また、このような企画があったら、教えてほしいという声もたくさんありました。

「観に行きたいと思っていた映画だけど、彦根では上映されてないから、観れて良かった」「良かった、ありがとう！」といった声が多く、上映できて良かったと思いました。

他にも、彦根市の地域医療を守る会 代表 川村さんの『ケアニン』愛や、『ケアニン』を上映できたことにとても感動されていた様子等、良い印象ばかりです。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

好きな映画を、自分で企画して少しでも沢山の人に観て頂ければ、こんなに嬉しいことはないと思って主催してください。その気持ちが伝われば、たくさんの人が観に来てくださると思います。

ご担当者：
野村 武司さん（医療法人 湖葉会 すみよしクリニックデイサービスセンター　所長）

彦根市の地域医療を守る会
安心安全にくらせるまちづくりを目指して、彦根市内で幅広い業種の専門家を講師に招いて勉強会を催している。45回にわたる勉強会の参加者は延べ1000人近くに上る。